

第2回地球未来シンポジウム

核と鎮魂 II ～文明の終りと始まり～

私とあなたは、遅くとも2045年までに 核=原子力と決別しませんか？

昨年、「愚行に無関心なことが、一番の愚行である」と掲げ、立場の違う者たちが同じテーマについて語る「核と鎮魂」という企画を実施しました。

その結果、長い年月、最長では10万年もの間、人類を含む生物に対し無害とはならない放射性廃棄物と共に、この島国で生きていること、そして、安全ではないものと共存している現実を覚悟し、どう安心しながら生きていくかという課題が全国民の前に横たわっているということを再認識しました。

どのようなイデオロギーを持っている人も、どのような暮らし方を選択している人も、「日々産み出され続けている放射性廃棄物をどうしていくのか、既に存在している放射性廃棄物と共にどう生きていくのか？」という問題と無関係ではありません。自分や家族や友人のすぐ側に、地面のつながった数キロ・数十キロ・数百キロメートル先に、安全ではないものが存在しています。

そこで、今年は、「文明の終わりと始まり」を掲げ、生命を脅かす環境問題と平和問題をつくり出した近代文明の産物としての核について掘り下げます。この掘り下げなくして、「安全ではないけれど安心して生きる思考や環境」という未来にはつながっていかないでしょう。

- Nuclearというひとつの言葉が、平和利用と呼ばれる場合には「原子力」とされ、兵器利用になれば「核」と和訳されてきた現状

- 日本中に点在する放射性廃棄物には、「原子力発電所から発生したもの」「研究機関や医療機関から発生したもの」「福島原発事故から発生したもの」、さらには「使用済み核燃料を再処理した時に生じる高レベル放射性廃棄物と呼ばれるもの」など多様な分類が存在し、管轄官庁も経産省、文科省、環境省と分かれている現状

- 地域によって、原子力発電所再稼働を受け入れる予定あるいは受け入れた当地や反対し続けている周辺地がある現状

など

さまざまな角度から原子力・核について語り合い、持続可能な社会、新たな文明に向け、歩みを進めます。

日時：2018年11月24日(土) 13:30-17:30 (13:00受付開始)

会場：京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内)
(500席・要予約・入場無料)

プログラム・登壇者 (敬称略・五十音順)

13:30-13:40 オープニング

「シンポジウムの趣旨説明」

熊野 英介 / 公益財団法人信頼資本財団 理事長

13:40-17:20 ダイアローグ

※15:20-15:40 休憩予定

「文明の終わりと始まり」

コーディネイター

本間 正人 / 京都造形芸術大学 副学長

登壇者

鬼丸 昌也 / 特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス創設者 理事

嘉田 由紀子 / 前滋賀県知事、前びわこ成蹊スポーツ大学学長、
日本環境社会学会元会長

末吉 里花 / 一般社団法人エシカル協会 代表理事、
日本ユネスコ国内委員会 広報大使

鈴木 達治郎 / 長崎大学核兵器廃絶研究センター長 教授

フォロアー ※壇上両脇にフォロアー席を設け、
一種のフィッシュボウル方式でダイアローグを進めます

関 恵 / 発酵食堂カモシカ 主宰

田口 一成 / 株式会社ボーダレスジャパン 代表取締役、信頼資本財団 フェロー

田中 勝 / 京都造形芸術大学 文明哲学研究所 准教授

田中 優 / 未来バンク事業組合 理事長、ap bank 監事、
天然住宅バンク 代表、全国NPO連絡会 代表、
日本国際ボランティアセンター 理事、信頼資本財団 評議員

谷崎 テトラ / 一般社団法人ワールドシフト・ネットワーク・ジャパン 代表理事、
京都造形芸術大学 創造学習センター 教授、
信頼資本財団 シニアフェロー

中村 菜穂 / 一般社団法人京都ジェンズの会

ハッカライネン ニーナ / 外国人女性の会パルヨン

春山 慶彦 / 株式会社ヤママップ 代表取締役、信頼資本財団 フェロー

星川 淳 / 一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト 代表理事、
作家、翻訳家、信頼資本財団 シニアフェロー

17:20-17:30 クロージング

「終了のご挨拶」

大野木 啓人 / 学校法人瓜生山学園 常務理事・京都芸術デザイン専門学校校長

「来年への思い」

熊野 英介 / 公益財団法人信頼資本財団 理事長

作品募集



同時開催

京都ユネスコ協会芸術展2018

テーマ：平和への「勇氣ある一歩」

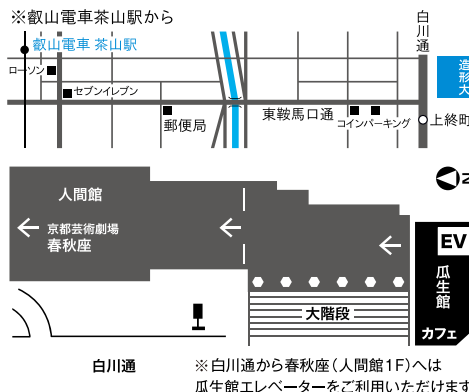
- ・募集作品：平面アートおよび写真
 - ・応募締切：2018年11月7日必着
 - ・選抜作品は地球未来シンポジウム会場にて展示。賞選考。
- ※詳しくは京都ユネスコ協会 website にて

京都芸術劇場 春秋座

〔京都造形芸術大学内〕

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

<http://k-pac.org>



<アクセス>

- JR・近鉄「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「河原町」駅から
京都市バス5系統「岩倉」行きに乗車、「上終町京都造形芸大前」下車
(「京都」駅から約50分、「三条」・「河原町」駅から約30分)
- 京都市営地下鉄丸太町・「北大路」駅(北大路駅バスターミナル)から
京都市バス204系統循環「高野・銀閣寺」行きに乗車、
「上終町京都造形芸大前」下車(「丸太町」駅または「北大路」駅から約15分)
- 京阪「出町柳」駅から叡山電車に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩約10分
- タクシーご利用の場合、「京都」駅から約40分
地下鉄「今出川」駅から約15分(「京都」～「今出川」は地下鉄で約10分)

※所要時間はあくまで参考としての標準時間です。
天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。
※駐車場はございませんので、お車・バイクのご来場はご遠慮ください。

核と鎮魂

市民会議
Citizens'
Conference

日時：2018年11月24日(土) 13:30-17:30

会場：京都芸術劇場 春秋座(京都造形芸術大学内)
(500席・要予約・入場無料)

共催：学校法人瓜生山学園京都造形芸術大学
公益財団法人信頼資本財団

協賛：京都ユネスコ協会

後援：一般社団法人KYOTOGRAPHIE、パタゴニア日本支社

株式会社ヒューマンフォーラム、アマタホールディングス株式会社

第2回目の対話 文明の終わりと始まり

Nucleus
and
of Repose
of Souls

